

衆議院青少年問題に関する特別委員会ニュース

平成 23.4.20 第 177 回国会第 3 号

4月20日（水）第3回の委員会が開かれました。

1 青少年問題に関する件

- ・ 蓮舫国務大臣（共生社会政策担当）、末松内閣府副大臣、小宮山厚生労働副大臣、笠文部科学大臣政務官及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。

（参考人） 原子力安全委員会委員 久住 静代君

（質疑者及び主な質疑内容）

宮本 岳志君（共産）

- ・ 東日本大震災により、両親が死亡または行方不明となっている孤児の調査の現状を伺いたい。
- ・ 東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴い、福島県内の学校において、屋外活動を行う際の放射線量の暫定基準について、国際放射線防護委員会の定める基準に従い、年間被ばく量を成人と同じ 20 ミリシーベルト以下に定めた理由を伺いたい。

山田 良司君（民主）

- ・ 「子ども・若者ビジョン」が昨年に策定されたが、政府は子ども・若者支援施策をどのように進めていくつもりなのか。また、行われた施策をどのように点検、評価していくつもりなのか。
- ・ 東日本大震災により内定を取り消された若者の現状及び彼らに対し、政府はどのような支援を講じているのか。
- ・ 若年期からの飲酒・喫煙が、薬物乱用に繋がる可能性が高いと考えている。そのため、子ども・若者の飲酒・喫煙を防止するために、政府はどのような対策を行っているのか。

馳 浩君（自民）

- ・ 里親の要件審査が長期になることによって、震災孤児とのミスマッチングが起きてはならないと考えるが、政府の見解を伺いたい。
- ・ 東京電力福島第一原子力発電所における放射性物質漏えい事故において、自治体や教育委員会から学校の放射線モニタリングのために線量計を配付してほしいという要望がたくさんある。これについて政府としてどのように対応していくつもりか。
- ・ 精神疾患対策基本法を制定し、入院措置を減少させて地域での受け皿を作るための対策が必要であると考えているが、大臣の見解を伺いたい。

- ・ 放課後児童クラブの安定的な運営を考えると、全国の小学校施設等をクラブに活用させる必要があると考えるが、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・ こうのとりのゆりかごを緊急一時保護施設として児童福祉法上に位置づけるべきであると考えているが、政府の見解を伺いたい。

池坊 保子君（公明）

- ・ 東日本大震災により心に大きな傷を負った子どもたちに対する文部科学省及び厚生労働省の支援の現況について伺いたい。
- ・ 児童虐待をした保護者に対する指導・支援を充実させるため、必要な人材等を確保していく必要があると考えるが、政府の見解を伺いたい。
- ・ 児童養護施設等における一人当たりの居室面積基準を特別養護老人ホーム並みに引き上げる必要があると考えるが、政府の見解を伺いたい。